

もしも、
口から食べられなくなったら
どうしますか？



第2回 いのちを考える市民講座

平穩死

へいおんしのすすめ

記念講演 石飛幸三
kouzou ishitobi

【石飛幸三 (いしとび こうぞう)】

特別養護老人ホーム・芦花ホーム常勤医。1935年広島県生まれ。1961年慶應義塾大学医学部卒業。外科学教室に入局後、1970年ドイツのフェルディナント・ザウアーブルッフ記念病院で血管外科医として勤務。1972年東京都済生会中央病院勤務。30年にわたって頸動脈内膜剥離術など血管外科の発展に寄与する一方、慶應義塾大学医学部兼任講師として血管外傷を講義。1993年東京都済生会中央病院副院長。2005年12月より現職。講演や執筆、メディアを通して、老衰末期の看取りのあり方について、啓発に尽力している。著書に「平穩死」のすすめ 口から食べられなくなったらどうしますか (講談社)「平穩死」という選択 (幻冬舎ルネッサンス) 家族と迎える「平穩死」(廣済堂出版) がある。



■ 日 時：平成27年9月13日(日)
13:30～16:30 (13:00 開場)

■ 場 所：テクノプラザかつしか 2F 大ホール
〒125-0062 東京都葛飾区青戸 7-2-1

■ 参加費：無料
(席席の用意の都合上事前予約をお願いします)

■ プログラム
13:40 平穩死のすすめ

15:30 いのちを考えるシンポジウム

- ・ 迫井 正深 (厚生労働省老健局老人保健課長)
- ・ 行田 泰明 (淳友会わたクリニック 診療部長)
- ・ 秋葉 博子 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
入退院医療連携センター 退院調整看護師)

主 催：「看ます。生きます。この街で。」実行委員会

共 催：訪問看護ステーション はーと
ホームホスピス はーとの家 金町
居宅介護支援事業所 はーと

後 援：(株)マメール ホームヘルプ マメール
医療法人社団玲瓏会 金町中央病院
(株)T&I 訪問看護ステーションオアシス
パナソニックエイジフリー介護チェーン葛飾

(有)ライフシーン あしすとケア
イーエヌ大塚製薬 株式会社
(株)あずみ 末広はりきゅう治療院
(株)レジオン ケアセンター恵

淳友会 わたクリニック
(株)博愛社
ウィズ薬局

お問合せ：訪問看護ステーション はーと
TEL 5876-9601 E-Mail rsd11763@nifty.com

●この事業は「公益財団法人 笹川記念保健協力財団」の助成を受け実施いたします。

だれもが輝く明日へ



Sasakawa Memorial
Health Foundation



【FAX送付先 03-5876-9602】

平成27年 9月13日(日) 13時30分～
テクノプラザかつしか 2F 大ホール

『看ます。生きます。この街で。』

参加申込書

●お名前： _____

●ご住所： _____

●お電話： _____

●参加人数： 大人 人 / 子供 人

●講演に関する希望・その他 _____

※お客様から直接書面に記載された個人情報を取得する場合(直接書面による取得)は、その都度、お客様に利用目的を明示させていただきます。
(法18条2項)(JIS 3.4.2.4) 直接書面による取得以外で個人情報を取得する場合は、次の利用目的の制限の範囲内で取り扱わせて頂きます。
(法18条1項)(JIS 3.4.2.5)。

※満席になり次第受付を終了いたします。